

授業科目	看護研究演習				単位	3		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	NU31408J		
開講年次	4年	開講時期	通年	該当DP	DP1-2 DP2-1 DP3-1 DP4-1			
担当教員	大嶋 満須美							
授業概要	既習の知識・技術、理論、臨地実習の経験を基に、自ら看護に関する研究テーマを設定する。文献検討を深めて研究計画を作成し、研究方法、論文作成、研究発表等の一連の研究活動の基本を学ぶ。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.既習の知識・技術、理論、臨地実習の経験を基に、指導教員とディスカッションしながら看護に関する研究テーマを設定できる。 2.研究テーマにおける問題解決や仮説を検証するために、倫理的配慮に基づく研究計画を作成できる。 3.研究計画に基づいて、調査研究や実験等を実施できる。 4.得られたデータの解析処理を経て、論文を作成できる。 5.研究のプレゼンテーションができる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	60	10	30	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)				10	10		20	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)			50		10		60	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			10				10	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)					10		10	
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
1.自ら問題意識を持ち積極的な姿勢で、一連の研究過程(行動目標 1-5)に取り組む。また、研究過程においては、倫理的配慮に留意し、研究対象者の権利についても考えることができる。 2.論文作成のルールや技術を学び、指導教員の指導を受け、よ				1.既習の知識・技術、理論、臨地実習の経験を基に、指導教員とディスカッションしながら看護に関する研究テーマを設定できる。 2.研究テーマの中の問題解決や仮説を検証するために、倫理				

<p>りよき論文作成・発表に向け、文献検索や修正をいとわず、意欲的に行動し、完成度の高い論文をめざして努力することができる。</p> <p>3.発表抄録を作成し、効果的でわかりやすい発表となるよう、工夫することができる。</p>	<p>的配慮に基づく研究計画を作成できる。</p> <p>3.研究計画に基づいて、調査研究や実験等を実施できる。</p> <p>4.得られたデータの解析処理を経て、論文を作成できる。</p> <p>5.研究のプレゼンテーションができる。</p>
--	--

授業計画

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	<p>1.オリエンテーション 看護研究演習のねらい、授業概要、到達目標、研究過程、評価等を説明する。</p> <p>2.研究における倫理的配慮、論文作成のルールや技術、文献検索等について各指導教員からレクチャーを受ける。</p> <p>3.学生は教員の指導・助言を受けながら、主体的に、倫理的配慮に基づく一連の研究過程に取り組む。</p>	個別指導・グループ指導(学生は主体的に学習活動に取り組む)	各担当教員より指示する。	
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				

17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	看護研究の基礎で使用した資料等を使用して復習しておくこと			
テキスト	特になし。必要に応じて文献等を紹介する。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	必要に応じ、担当教員が紹介する。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	割り振られた時間内に限らず、自主的に研究に参加し、積極的に課題に取り組むこと。			
達成度評価に関するコメント	レポートについては、関連する先行研究等を読み込み、倫理的配慮を行ったうえで、客観的・科学的に考察をすること。			